

防火対象物を新築する
場合の記載例

(その1)

防火対象物使用開始届出書

①〇〇年〇〇月〇〇日					
②(宛先)野田市消防長					
③届出者 住所 野田市宮崎126番地の2 (電話04-7124-0119番) 氏名 株式会社消防 代表取締役 消防太郎					
④所在地	野田市宮崎126番地の2			電話04-7124-0119番	
⑤名称	介護老人保健施設〇〇〇〇		⑥主要用途	介護老人保健施設	
⑦建築確認年月日	〇〇年〇〇月〇〇日		建築確認番号	第〇〇〇号	
※消防同意年月日				※消防同意番号	第 号
⑧工事着手年月日	〇〇年〇月〇〇日	工事完了(予定)年月日	〇〇年〇月〇〇日	使用開始(予定)年月日	〇〇年〇月〇〇日
⑨他の法令による許可認可	介護保険法第94条第1項の規定に基づく開設許可				
⑩敷地面積	〇〇〇m ²	建築面積	〇〇〇m ²	延べ面積	〇〇〇m ²
⑪従業員数	25人		⑫公開時間 又は従業員時間	0:00~24:00	
⑬屋外消火栓、動力消防ポンプ、消防用水の概要					
⑬その他必要な事項					
※受付欄	※経過欄				

防火対象物棟別概要 (第 号)	⑭用途	介護老人保健施設		⑮構造	耐火			
	種別 ⑯階別	⑰床面積 m ²	⑱用途	⑲消防用設備等の概要				⑳特殊消防用設備等の概要
				消火設備	警報設備	避難設備	消火活動上必要な施設	
	1階	〇〇〇	事務所 居室等	消火器 スプ ^レ リンクラー	自火報 火災通報装置 非常放送	誘導灯		
	2階	〇〇〇	居室 食堂等	消火器 スプ ^レ リンクラー	自火報 火災通報装置 非常放送	誘導灯 すべり台		
	3階	〇〇〇	居室 食堂等	消火器 スプ ^レ リンクラー	自火報 火災通報装置 非常放送	誘導灯 すべり台		
	4階	〇〇〇	居室 食堂等	消火器 スプ ^レ リンクラー	自火報 火災通報装置 非常放送	誘導灯 すべり台		
	階							
	階							
階								
⑳計	〇〇〇		消火器 スプ ^レ リンクラー	自火報 火災通報装置 非常放送	誘導灯 すべり台			

- 備考
- この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 - 同一敷地内に2以上の棟がある場合には、棟ごとに「防火対象物棟別概要追加書類」に必要な事項を記入して添付すること。
 - 法人にあっては、その名称、代表者氏名、主たる事務所の所在地を記入すること。
 - 建築面積及び延べ面積の欄は、同一敷地内に2以上の棟がある場合には、それぞれの合計を記入すること。
 - 消防用設備等の概要欄には、屋外消火栓、動力消防ポンプ及び消防用水以外の消防用設備等の概要を記入すること。
 - ※印の欄は、記入しないこと。
 - 防火対象物の配置図、各階平面図及び消防用設備等の設計図書(消火器具、避難器具等の配置図を含む。)を添付すること。

防火対象物使用開始届出書 記入要領（新築）

項 目	記 入 要 領
①年 月 日	届出書の提出年月日を記入します。
②宛 先	野田市消防長宛てとします。
③届 出 者	当該防火対象物の管理について権原を有する者の住所、電話番号、氏名を記入し、押印します。 ●法人の場合は、法人の住所、電話番号、名称、代表者の職・氏名を記入し、代表者の職印を押します。 ●個人企業の場合は住民登録のしてある住所とします。
④所在地、電話	当該防火対象物の所在地と電話番号を記入します。
⑤名 称	当該防火対象物の名称を記入します。
⑥主 要 用 途	当該防火対象物の主な用途を記入します。
⑦建築確認年月日 建築確認番号	建築基準法第6条第1項又は建築基準法第6条の2第1項の規定による確認済証に記載されている建築確認年月日及び建築確認番号を記入します。 変更している場合は、最終の建築確認年月日及び建築確認番号を記入します。
⑧工事着手、工事完了、 使用開始年月日	当該防火対象物の工事に着手した年月日、工事完了（予定）の年月日、使用開始する（予定）年月日を記入します。
⑨他の法令による 許 認 可	消防法以外の法令による許認可を受けている場合は、記入します。 例：旅館業法第3条第1項の規定による許可
⑩敷 地 面 積 建 築 面 積 延 べ 面 積	敷地面積、建築面積、延べ面積を記入します。 同一敷地内に2以上の棟がある場合、建築面積、延べ面積はそれぞれの合計を記入します。
⑪従 業 員 数	従業員（パート、アルバイト等も含む）の数を記入します。 交代制等で時間によって従業員数が違う場合は、従業員が一番多い時間帯の人数を記入します。
⑫屋外消火栓、動力 消防ポンプ、消防 用 水 の 概 要	屋外消火栓、動力消防ポンプ、消防用水を設置する場合は、その概要を記入します。 例：消防用水 厚生棟西側 20m ³
⑬その他必要な 事 項	シャッター等の水圧開錠・開放装置、簡易自動消火装置、オートロック、オートロック開錠装置を設置する場合は、その概要を記入します。また、平面図に設置位置を記入し、仕様書等を添付します。 例：1階正面入口：オートロック（オートロック開錠装置あり） 1階東側：シャッターの水圧開錠装置あり
⑭用 途	当該棟の防火対象物の用途を記入します。
⑮構 造	構造を記入します。 例：耐火、準耐火、その他（木造）
⑯階 別	階数を記入します。
⑰床 面 積	階の床面積を記入します。
⑱用 途	階の用途を記入します。
⑲消防用設備等の 概 要	設置される消防用設備等の種類を記入します。
⑳特殊消防用設備 等 の 概 要	設置される特殊消防用設備等の概要を記入します。
㉑ 計	当該棟の延べ面積を記入します。 当該棟に設置される消防用設備等の種類を記入します。

注) 案内図、配置図、各階平面図、立面図、断面図、矩計図を添付して届け出て下さい。

300m²未満の防火対象物にあつては、消防用設備等の設計図書も添付して下さい。

図面は、縮尺が合っているものを添付して下さい。